資料　４

特別展「もしも猫展」中間報告

１　**名称**：特別展「もしも猫展」

２　**主催**：「もしも猫展」仙台展実行委員会（仙台市博物館・ミヤギテレビ）

３　**協力**：名古屋市博物館

４　**後援**：河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞社仙台総局、読売新聞東北総局、
産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、
山形新聞・山形放送、福島民友新聞社、岩手日日新聞社、NHK 仙台放送局、
ｔｂｃ東北放送、仙台放送、khb 東日本放送、エフエム仙台、
仙台シティエフエム　ラジオ３、テレビ岩手、福島中央テレビ

５　**会期**：令和８年４月 17 日（金）～６月７日（日）　開催日数 45 日
※休館日　毎週月曜日（５/４を除く）、５/７

６　**会場**：テーマ展示室Ⅰ、企画展示室、コレクション展示室Ⅱ

７　**観覧料**：一般 1,500 円（前売 1,300 円）　高校・大学生 1,000 円　小学・中学生 800 円
※10 名以上の団体は、当日料金より各 100 円引。

８　**展示構成**：

第１章　くらべてみる	第２章　擬人化の効能
第３章　おこまものがたり	第４章　人、猫になる
特　集　おしゃべりな顔、百面相	第５章　国芳のまなざし
終　章　もしも･･･。	

９　**関連イベント等**：

（１）記念講演会（申込制・聴講無料）
「国芳、猫を描く」
日時：４月 18 日（土）13：30～15：00　会場：博物館ホール
講師：津田　卓子　氏（名古屋市博物館学芸員）
参加者数 142 人

（２）まちなか博物館講座（申込制・聴講無料）
「特別展「もしも猫展」見どころ紹介」
日時：5 月 23 日（土）13：30～15：00（13:00 開場）
会場：東北工業大学　地域連携センター「テクロビ」
講師：黒田　風花（仙台市博物館学芸員）
定員：対面 50 名、オンライン 300 名

（３）オリジナル擬人化作品をつくろう

①もしも博物館資料が人のように話したら？　（申込不要・無料）

日時：4 月 28 日（火）～5 月 6 日（水・祝）

会場：博物館ギャラリー

参加者数 128 人

②「ねこけし」絵付け体験（申込制・有料）

日時：5 月 17 日（日）・24 日（日）各日２回

午前の回 10:30～11:30　午後の回 14:00～15:00（各回定員 20 名・申込者多数の場合は抽選）

会場：博物館ギャラリー

講師：加藤　渉　氏（加藤木工）

参加者数　66 人（5 月 17 日）

（４）にゃぁ～んとスタンプラリー

スタンプ設置場所（予定）：仙台市博物館、猫専門またたび堂、保護猫シェルターおうちにおいで（以上、仙台市）、田代島しまの駅（石巻市）、丸森町観光案内所（丸森町）、村田町歴史みらい館（村田町）

※参加には「ミヤテレアプリ」（無料）のダウンロードが必要。

10　印刷物作成・配布：

B1 ポスター80 枚、B2 ポスター1,500 枚、A4 チラシ 100,000 枚

展覧会図録 A5 変形 320 ページ 1,100 部（増刷）

11　観覧者数：18,640 人（５月 21 日現在、1 日平均 621 人）